



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 31 (令和 8 年 8 月)
発行: 伊丹市立幼児教育センター
住所: 伊丹市千僧 1-1
電話: 072-780-2488
アドレス: youkyosenta@city.itami.lg.jp

「保育者の仕事 魅力発信！」イベントを行いました

8月6日(木)ささはらこども園にて、伊丹市在住・在学の中学生・高校生を対象に、幼稚園や保育所、認定こども園で働く保育者の仕事の魅力について発信し、次世代の保育者育成としてキャリア支援に資することを目的として、「保育者の仕事 魅力発信」イベントを行いました。今年度で3年目となる取り組みです。当日は、7名の中高生の参加がありました。



各保育室にて、0歳児から5歳児までの子ども達と一緒に遊びました。まずは自己紹介。中高生もはじめは緊張気味でしたが、時間が経つにつれて子ども達との距離も縮まり、一人一人にじっくり関わる姿が見られました。

子どもの目線に合わせて…
子どもたちは何を見ているのか、何を感じているのかな



園長先生から、自ら“やってみたい”と思ってこのイベントに参加してくれたことが嬉しい。

そして、子どもがどんなことをしたいと思っているのか、何を考えているのかなど、子どもの思いを感じようとしてくれていることが子ども達と関わる姿から感じられ、すごいと思ったとお話があり、幼児理解の大切さについて伝えていただきました。

【イベント後の振り返りでは…】

「はじめは緊張してどう関わっていいかわからなかったが、様子を見ながら声をかけていくと子どもも応えてくれた」「子どもが自分の名前を呼んでくれてすごく嬉しかった」「1歳児でも話すことができるんだと感じた」「虫の取り合いで揉める姿があったが自分の声かけで順番を待つ姿につながった」などの感想がありました。

また、「乳児と幼児など、年齢によって置かれている玩具が違い、遊び方も決まった遊び方ではなくいろいろな遊び方ができるんだなと思った」「年齢によって子どもが話す内容やスピードが違い、それによって接し方にも違いがあることがわかった」など、保育環境や子どもへの関わり方に対する大切な気付きもあり、感心しました。そして、「保育の仕事っていいなと思った」という声も聞かれ、とても嬉しく感じました。

イベント後、園を出るときには参加者の皆さんが充実した笑顔で互いに声を掛け合って帰っていく姿が見られました。今回の経験が参加者のキャリア支援、そして未来の保育者育成につながることを願っています。

「伊丹市睡眠研修会」限定配信は今月末までです！

5月25日に開催しました「伊丹市睡眠研修会」の伊丹市 YouTube アカウントでの限定配信はご覧になられましたでしょうか。配信期限は、8月31日までとなっております。ぜひご覧いただき、子どもの睡眠についての理解を深めていただけると幸いです。

なお、引き続き幼児教育センターで DVD 貸出も行っております。こちらも併せてご活用ください。